

平成 26 年度 事業計画

一般社団法人横浜みなとみらい21

平成 26 年度 事業計画

平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで

当法人は、みなとみらい 21 地区の街づくりに関わる多様な主体が一体となってエリアマネジメントを実践することにより、当地区の魅力を高め、質の高い都市環境の維持・向上を図り、もって活力あふれる国際文化都市・横浜の発展に寄与することを目的として、平成 21 年度から事業を開始しました。

これまでの 5 年間、会員の皆様とともにエリアマネジメント活動を実践し、その取組の中から地区の課題等を認識しつつ、着実に事業を推進してきました。

当地区は、1983 年（昭和 58 年）の事業開始から、昨年 30 周年を迎え、今後の更なる発展に繋げていくためには、会員の皆様とともに「街をつくり・育てる」仕組みづくりに取り組み、この街の持つ魅力を広く発信していくことが重要になります。

とりわけ、2020 年（平成 32 年）の東京オリンピック・パラリンピック開催が決まったことを受け、みなとみらい 21 地区として、国内外からの多くの来街者をお迎えするための施策を会員の皆様と一緒に検討してまいります。

平成 26 年度の事業計画では、特に「街づくり調整事業」においては、地震対策としての組織体制の構築と具体的行動の確立を、「環境対策事業」においては、昨年度横浜市が実施したスマートなまちづくり審議会の答申を踏まえた具体的取組を、また「文化・プロモーション事業」においては、Web・携帯端末を活用した情報発信の強化、公共空間を活用した賑わい創出の取組、会員相互の交流機会の場の拡大を中心に取り組んでまいります。

これら各事業の推進にあたっては、委員会や部会等の開催を通じて会員の皆様からのご意見を踏まえ、情報共有を図るとともに、重要性や緊急性を考慮して限られた財源の中で最大限の効果が発揮できるよう、効率的な事業執行を行ってまいります。

また、広告・イベントスペース等運用事業においては、利用者の視点に立って利便性の向上を図り、収益の向上に繋げるための様々な対応策を検討・実施します。

1 事業構成

次の事業を柱としてエリアマネジメントを推進していきます。（詳細は次項以降に記載しています。）

- (1) エリアマネジメント推進事業
 - ア 街づくり調整事業
 - イ 環境対策事業
 - ウ 文化・プロモーション事業
 - エ その他事業（会員交流事業）
- (2) 広告・イベントスペース等運用事業

2 社員総会及び理事会の開催

- (1) 社員総会
定時社員総会を 6 月に開催します。
- (2) 理事会の開催
定例理事会を年 3 回開催します。（6 月、11 月、3 月）

街づくり調整事業

21,350 千円(前:21,450 千円)

時代の変化に適応した街づくりを進めていくため、みなとみらい21地区全体の街づくりの方向性を議論し、共有化を図り、対応策を検討し実施します。

◇みなとみらい21地区における地震対策の推進

2,000 千円(前:3,000 千円)

【企画調整部・総務部】

東日本大震災の発生を契機に、大地震等による大規模災害発生時の混乱を最小限に抑えるため、エリアマネジメント活動として、自助・共助による対策について、これまでの検討を踏まえ、地区内での情報伝達体制を構築する等、実践的な取組を行い、安全・安心な街を目指します。

平成26年度は、平成25年度における防災エリアマネ組織準備会での検討を受けて、エリアマネジメント活動として防災に取り組む組織体制を作り上げ、帰宅困難者対策の検討や、無線WiFi等による情報受伝達網の整備促進検討等、より実践的な取組を推進し、安全・安心な街として積極的に情報発信していきます。

The image displays two parts of an information connection sheet template. On the left is a form titled '情報連絡シート 防災' (Information Connection Sheet Disaster) with various input fields and checkboxes. On the right is a table titled '防災連絡表' (Disaster Contact Table) with columns for '項目' (Item), '担当者' (Responsible Person), '連絡先' (Contact), and '備考' (Remarks).

＜情報連絡シート様式＞

◇合同防災訓練の実施

500 千円(前:700 千円)

【総務部】

災害発生時に地区全体で協力し合う意識を高めるとともに、消火器の使い方や応急手当、心肺蘇生法等を実践体験し、非常時の心得として活用することを目的として、地区内就業者や住民の参加による合同防災訓練を防災エリアマネ組織と連携して実施します。

＜参考：平成25年度訓練内容＞

- ・情報受伝達訓練
- ・SNS（LINE）による現場情報提供訓練
- ・津波避難訓練
- ・煙体験
- ・起震車体験
- ・屋内消火栓放水訓練及び消火器訓練
- ・応急手当実技訓練
- ・心肺蘇生法実技訓練
- ・災害用地下給水タンク操作訓練



＜海上救助デモンストレーション＞

◇みなとみらい21 エリアマネジメント活動の推進

2,000 千円 (前 : 1,500 千円)

【 企画調整部・総務部 】

みなとみらい21 地区におけるエリアマネジメント活動への参加意識を高めるため、平成25年度に実施したワークショップにて取りまとめた取組アイデア集を活用し、会員との交流を図るワークショップを開催します。また、ワークショップの一部については、実験的にフィールドワークも実施します。

また、社団で取り組んでいるさまざまなエリアマネジメント活動を一般にわかりやすくビジュアルで紹介する冊子を制作します。この冊子には、社団の紹介も合わせて掲載し、社団のPR活動にも活用します。



〈 エリアマネジメント活動ワークショップの様子 〉

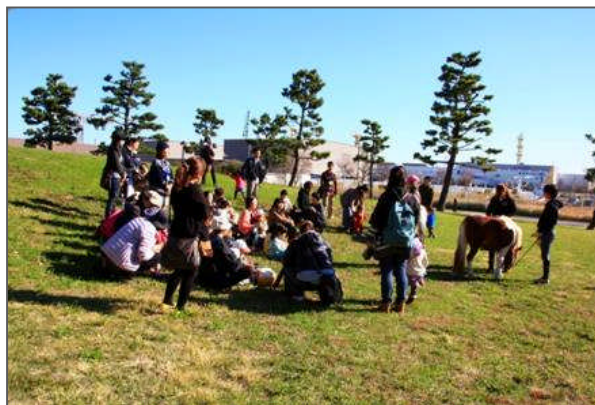
◇エリアマネジメント活動助成事業

4,450 千円 (前 : 4,350 千円)

【 事業推進部 】

年2回、当地区内でエリアマネジメントに資する活動を行う団体を募集し、有識者と会員企業で構成された選考委員会による公開選考を経て、資金助成する活動団体を決定します。平成25年度から最大50万円まで助成可能な従来のコースに加え、最大5万円までの小額助成コースを新たに設けており、より応募しやすい仕組みを導入し新規応募者の開拓を進めます。

また、前年度採択した助成団体が活動成果について発表し、相互に交流するための場として、助成活動成果報告会を開催します。また、応募団体の発掘を図るため、パンフレット等により応募件数の増加をはかります。



〈 みなとみらいでポニーと親子で遊ぼう 〉



〈 チョークアート@みなとみらい 〉

【新規事業】

◇みなとみらい21アートな街づくり情報の発信

1,500千円<新規>

【企画調整部】

平成26年に開催される「ヨコハマトリエンナーレ2014」にあわせ、地区内のパブリックアートなどを散策するためのパンフレット、ウェブページを制作します。あわせてアートツアーを開催し、地区の情報発信を行います。



星座'94 横浜
平山 郁夫



モクモク ワクワク ヨコハマ ヨーヨー
最上 壽之

◇みなとみらい21街づくり状況の各種調査

2,500千円(前:2,500千円)

【企画調整部】

来街者調査や進出企業調査等を継続的に実施し、エリアマネジメント活動の基礎資料とします。

また、平成26年度も前年度に引き続き、多様な手法による来街者の居住地等の属性や回遊パターン等の調査等を実施することにより、将来の街の賑わいや利便性向上、来街者や進出企業の増加に向けた検討も行います。

◇みなとみらい21地区における交通対策等の検討

1,000千円(前:2,000千円)

【企画調整部】

地区内の利便性、回遊性向上による賑わい創出等に向けた交通対策の検討を行います。

平成26年度は、横浜市の駐車場条例の改正の動きと連携し、前年度に検討した附置義務駐車台数緩和のための地域ルール策定に向けて取り組みます。

◇駐車場案内システム協議会の運営

—(前:—)

【事業推進部】

新規開発事業者の駐車場案内システム協議会への参画を推進します。平成25年度から新規で始めたスマートフォンサイトサービスに引き続き加入します。なお、将来の協議会運営方法については、引き続き検討を行います。

◇街づくり調整委員会（部会）の開催

100 千円（前：100 千円）

【 企画調整部 】

新港地区、中央地区、横浜駅東口地区それぞれの開発の経緯や背景等の地区特性を尊重し、街づくりの方向性や課題、その対応策を検討する場として、街づくり調整委員会及び街づくり調整部会を開催します。

◇みなとみらい21街づくり基本協定の運営【中央地区】

2,000 千円（前：2,000 千円）

【 企画調整部 】

みなとみらい21 中央地区の地権者間等で定めた土地利用、建物・屋外空間計画等の街づくりに関するルールである「街づくり基本協定」を運営し、その基本的な考えを共有するとともに、より魅力ある調和のとれた街づくりを進めます。

また、基本協定のより適切な運営や、多岐・多様なテーマに優先順位をつけながら、戦略的な街づくりを進めるための方策等の検討を行います。

平成 26 年度は、景観制度等の社会情勢に応じたテーマについて、見直しを進めていきます。また、マスタープランや基本協定冊子のデータ更新等も行います。

◇「みなとみらい21インフォメーション」等の改訂

2,500 千円（前：2,500 千円）

【 企画調整部 】

企業誘致や様々な視察対応等に備え、当地区の計画概要等をまとめた「みなとみらい21インフォメーション（冊子及び映像）」等を制作しています。平成 26 年度は、映像のダイジェスト版も含め、最新の状況に改訂等を行います。



〈 インフォメーション vol 85 〉

◇みなとみらい21地区の土地公募業務

1,000 千円（前：1,000 千円）

【 企画調整部 】

当地区における横浜市所有の土地について、横浜市から開発事業者公募の業務を受託し、事務局としての業務とともに、誘致促進に向けた開発事業者への募集説明会を開催します。

◇横浜都心電波対策協議会の運営

1,800 千円（前：1,800 千円）

【 企画調整部 】

東京スカイツリーからの送信開始に伴い、平成 24 年度に改定した新たな負担金ルールに基づき、当地区内および関連開発地区における建物建設に起因する周辺市街地のテレビ電波障害対策に取り組む「横浜都心電波対策協議会」の事務局の運営を行います。

環境対策事業

6,000 千円(前:6,000 千円)

みなとみらい21地区における業務・商業活動等を通じて、地球環境への負荷軽減に向け、ハード面からソフト面まで幅広く多様な活動を展開し、環境未来都市としての取組を推進します。

◇みなとみらい21地区における環境対策の検討

5,000 千円(前:4,000 千円)

【企画調整部】

地球温暖化対策、循環型社会形成、生物多様性といったさまざまな環境問題に関し、当地区の特徴である水・緑を良好な環境に向上させることなどを視野に入れ、今後当地区において取り組むべき課題やその手法について会員企業と意見交換をしながら検討を進めます。

また、関係機関の取組と連携し、当地区での環境形成についても積極的に取り組み、その情報発信に努めます。

○「みなとみらい21 スマートなまちづくり審議会」答申を受けた取組

平成25年度に開催された「みなとみらい21 スマートなまちづくり審議会」の答申を踏まえ、横浜市温暖化対策統括本部と連携して具体的な取組の推進を図ります。

○地球温暖化防止に関する取組

平成26年度は、エネルギーインフラの形成をはじめとするさまざまな施策を横浜市温暖化対策統括本部と連携して進めるほか、会員参加の下、有識者を招いた連続セミナーを4回程度開催します。また、次世代を担う子供たちに向けたセミナー等を開催します。

○環境情報発信拠点の整備

この地区におけるさまざまな環境への取組を情報発信する拠点として、横浜市と連携しYMM内に環境情報発信拠点を整備します。エリアマネジメント活動としての取組とあわせて会員各社の環境への取組もこの拠点に集約し、さまざまな視察にも対応するとともに、東京オリンピックも視野に入れ、世界に向けて情報発信するため、ウェブページの充実を図ります。

○水環境の向上及び生物多様性に関する取組

平成26年度は、内水域に接するみなとみらい21地区の特性を踏まえて、前年度に実施した水質浄化策の効果測定を推進し、「きれいな海づくり」によって環境未来都市としての価値向上に努めます。あわせて次世代を担う子供たちの環境学習の場の提供にも取り組みます。

○グランモール公園再整備にかかる調整

平成29年春に予定されているグランモール公園再整備に向けた実施設計について、地区内会員企業とも連携し、積極的に環境への取組を採り入れるべく調整を図っていきます。

◇身近なエコ活動の実施、検討

900 千円（前：900 千円）

【 企画調整部 】

みなとみらい21 リサイクル推進協議会と連携し、古紙共同回収に積極的に取組、省資源化活動を推進していきます。

平成26年度は、打ち水大作戦をはじめ、節電やマイバッグ持参といった会員企業が身近に取り組める活動も地区全体として推進するなど、地区全体の環境意識向上に努めます。一方で、前年度に実施したエコワークショップを受け、みなとみらい21地区ならではの特色を活かした各種活動を展開し、他地域と連携した農業の取組等、多くの会員が参加できる活動を検討します。

また、樹名板設置についても設置範囲を拡大します。

◇環境対策委員会（部会）の開催

100 千円（前：100 千円）

【 企画調整部 】

当地区の環境対策（地球温暖化対策等）を議論し、課題への対応などを検討する場として、環境対策委員会及び環境対策部会を開催します。

◇地区内の清掃活動の実施

－（前：－）

【 事業推進部 】

当社団が事務局となり、毎月1回、公園愛護会制度を利用した「グランモール公園」の定期清掃（参加者数概ね50名）、ハマロードサポーター制度を利用した「桜木町駅前広場」の定期清掃（参加者数概ね10名）、みなとみどりサポーター制度を活用した「汽船道・運河パーク」の定期清掃（参加者数概ね30名）を周辺事業者及び住民等の参加を得て実施します。



＜ 定期清掃の様子 ＞

（ ◆地域緑のまちづくり事業 ）

－（前：1,000 千円）

【 企画調整部 】

みなとみらい21地区にふさわしい緑化等を地域ぐるみで進めるため、横浜市からの活動支援を受け、中央地区、新港地区及び横浜駅東口・中央地区の3地区において協議会を立ち上げました。今後は、各協議会において、地域緑化計画に基づき、公共施設緑化及び民有地緑化整備を進めます。

＜参考＞

- ・24年度設立 中央地区 グランモール公園を中心とした緑化計画
- ・25年度設立 新港地区 新港中央広場を中心とした新港地区の緑化計画
- ・25年度設立 横浜東口・中央地区 みなとみらい大橋等の緑化計画

文化・プロモーション事業

35,700 千円（前：38,300 千円）

みなとみらい21地区の状況や地区内で行われている活動等について、地区内外に情報発信すると共に、地区内の賑わい創出を促進し、街のイメージや魅力の向上を図ります。

◇PR活動の実施

4,500 千円（前：5,000 千円）

【事業推進部】

平成26年度は、ターゲットとなる年間イベント（大道芸、全館ライトアップ、公共空間イベント等）を定め、各施設側とも協議しながら、メディアを引き付けるコンテンツ制作・メディアへの効果的な訴求方法を戦略的に検討し、実行していきます。

これらにより、メディアとの関係構築を進め、媒体への露出拡大、当地区のイメージ向上を図ります。

◇地区イベントの開催

9,600 千円（前：14,700 千円）

【事業推進部】

地区内の賑わいを創出し、街の活性化と来街者の増加を促進するため、イベントを開催・支援します。

平成26年度は、例年通り4月に大道芸を開催し、10月のスマートイルミネーションに継続参加します。なお、大道芸については、グランモール公園・運河パークに的を絞った展開を図り、経費の見直しを行います。また、12月の全館ライトアップ開催について、参加施設と協議しながら進めていきます。

春のさくらフェスタ、夏の大盆踊りに引き続き参画し、地区内の季節の風物詩としての定着を支援します。

また、当地区の公共空間での賑わい創出にとって重要な組織である桜木町駅前広場活性化委員会及び新港地区賑わいづくり委員会、オープンカフェ運営委員会に対し、様々な催事の実施に対する支援を行います。



〈ヨコハマ大道芸 2013 in みなとみらい21〉



〈TOWERS Milight ～オフィス全館ライトアップ～〉

◇ウェブによる情報発信

7,000千円(前:3,000千円)

【事業推進部】

スマートフォン、タブレット等情報端末の多様化を踏まえ、「みなとみらい21公式ウェブサイト」PC版とスマホ版を統一すべくリニューアルを行います。イベント・ショップ情報も充実させ、来街者の増加に結び付けて行きます。またFACE BOOK や TWITTER などの SNS サービスを活用し、みなとみらい地区の魅力を対外的に発信していきます。

【PC版】



【スマホ版】



< 横浜みなとみらい21公式ウェブサイト >

◇広報誌による情報発信

6,000千円(前:6,000千円)

【事業推進部】

○社団タイアップページ買い取り

平成26年度も街の広報誌『mirea (ミレア)』（「みなとみらい21SP推進委員会」にて制作費負担）のページを買い取り、地区内の施設やエリアマネジメント活動等に関する情報を発信します。従来の内容を一部改め、来街者に対しエリアでの過ごし方も紹介・提案し、来街者増加に繋げる取組を積極的に展開していきます。

<参考：平成25年度タイアップ記事>

- ・5月号／わたしと、みなとみらい INTERVIEW (Vol.1) NDC グラフィックス 中川憲造
まちづくり百景：「みなとみらいの街づくり アイデア募集」、「みなとみらい駅観光案内所オープン」
- ・7月号／わたしと、みなとみらい INTERVIEW (Vol.2) 安藤百福発明記念館 筒井之隆
まちづくり百景：「この夏、街にマンモス出現!」、「みなとみらい打ち水大作戦」
- ・9月号／わたしと、みなとみらい INTERVIEW (Vol.3) 象の鼻テラス 岡田勉
まちづくり百景：「市民参加型アートイベント開催!」、「Audi みなとみらいオープン」
- ・11月号／わたしと、みなとみらい INTERVIEW (Vol.4) トゥーランドット 脇屋友詞
まちづくり百景：「クリスマスキャンドルイベント」、「街づくりアイデア募集」
- ・1月号／わたしと、みなとみらい INTERVIEW (Vol.5) 飛鳥クルーズ 中村大輔
まちづくり百景：「第3回みなとみらい自由演奏会」、「2つのブライダル施設オープン」

◇歩行者案内地図サインの維持管理

500 千円 (前 : 500 千円)

【 事業推進部 】

当地区には、案内地図サインが 70 基設置されています。新規施設オープンに伴い、桜木町駅前広場等、当社団管理の案内地図サインの更新を行います。

<参考>

- ・横浜市管理の地区内案内地図サイン 59 基
- ・当社団管理 7 基
- ・その他の民間施設等管理 4 基

◇文化・プロモーション委員会等の運営

100 千円 (前 : 100 千円)

【 事業推進部 】

当地区の PR や公共空間利活用等の事業に関する情報共有や意見交換を目的として年 4 回開催します。

◇インフォメーション担当者意見交換会

— (前 : —)

【 事業推進部 】

商業施設の案内受付担当者が、情報交換を行うための場として、定期的にインフォメーション担当者意見交換会を開催します。

(◆ガイドマップの制作)

— (前 : 2,000 千円)

【 事業推進部 】

「みなとみらい 21 地区ガイドマップ」については、隔年で制作を行っており、平成 25 年度に内容を更新し制作しました。次回は、平成 27 年度に制作する予定です。

会員交流事業

5,400千円(前:2,900千円)

会員相互の交流を促進し、新たなネットワークやエリアマネジメント活動を活性化するための取組を実施します。また、会員や就業者等の声を聴取し、エリアマネジメント活動に役立てていきます。

◇地区内情報等の提供

100千円(前:100千円)

【総務部】

地区内で行われるイベントやそれにとまなう交通規制、各種工事、防災・防犯、行政機関からの情報など、みなとみらい21地区に関連する様々な情報を、会員及び施設設置者連絡会の参加企業に随時提供します。

また、地区内全体への周知が必要な場合には、施設設置者連絡会を開催し、より詳しく情報等を提供します。

◇会員相互交流の機会の創出

2,300千円(前:2,300千円)

【総務部】

会員企業・団体のネットワークの形成や職員間の交流促進を図ることを目的に、みなとみらい21賀詞交換会や普通救命講習会等を開催します。



〈みなとみらい21賀詞交換会〉



〈普通救命講習会〉

◇みなとみらいかもめ SCHOOL

3,000 千円 (500 千円)

【 事業推進部 】

当地区内の就業者を対象として、就業前あるいは後に手軽に学べる場を提供します。平成 26 年度は、平成 25 年度の実施結果を踏まえて、より多彩な講座と地区内の施設を活用した講座を新設し、春学期（4～6 月）と秋学期（9～11 月）の 2 期制とします。また、地区内の企業等にも講座のメニューづくりに積極的に参加してもらい、魅力あるスクールの構築を図ります。



＜ 講座 02：お手軽ヨガで疲労回復！ ＞



＜ 講座 06：JICA 研修員の方と異文化交流会！ ＞

◇イベント連絡会の開催

— (前: —)

【 事業推進部 】

商業施設、ホテル、文化施設など、地区内の各集客施設が情報を共有し、相互連携を図るための場として、毎月 1 回、イベント連絡会を開催します。

記念事業**－（前：1,500千円）**

（ ◆みなとみらい21事業着工30周年記念事業への参画 ）**－（前：1,500千円）****【 総務部 】**

みなとみらい21事業の着工30周年にあたり、横浜市や地区に関係する企業・団体が中心となって組織する「みなとみらい21事業着工30周年記念事業実行委員会」に委員として参画し、事務局として記念事業を開催しました。

<参考：記念事業実施内容>

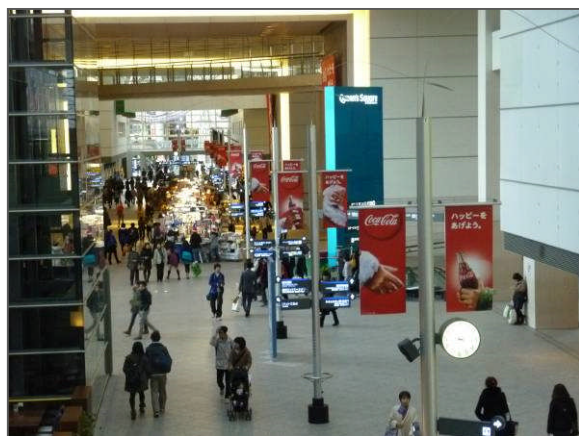
- ・みなとみらいワクワク探検隊（8月）
- ・30周年記念 パネル展（9～12月：市庁舎1階市民広間、クイーンズスクエア横浜シンギングツリー台座にて展示）
- ・FMヨコハマオリジナルコーナー（10～11月）
- ・クイーンズスクエア横浜シンギングツリータイアップ（11～12月）
- ・みなとみらいクロニクル ～光と音の祭典～（11月）

広告・イベントスペース等の運用事業**57,800 千円（前：57,300 千円）**

◇公有財産及び広告・イベントスペースの運用**57,800 千円（前：57,300 千円）****【 総務部 】**

「クイーンズスクエア横浜 専有クイーンモール」等について、店舗や広告、イベントスペースとして貸し付け、快適で賑わいのある空間を創出するため、その利用権等を横浜市から借り受けます。「みなとみらいギャラリー」についても利用者へのノウハウの提供や、円滑な貸し出しを行うため、その運営を外部へ委託します。

また、広告・イベントスペースの利用を更に促進していくため、広告・イベントスペースの概要や活用事例等を紹介するパンフレットを制作し、利用率向上に取り組みます。



〈 クイーンモール内のフラッグ 〉



〈 クイーンズサークルでのイベントの様子 〉